LIXIL
INAX

保証書付

オストメイトパック（コンパクトタイプ）

PTOM-B206型

取扱説明書

工事店様へのお願い
貴店名ならびに据付引渡日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

**このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。**

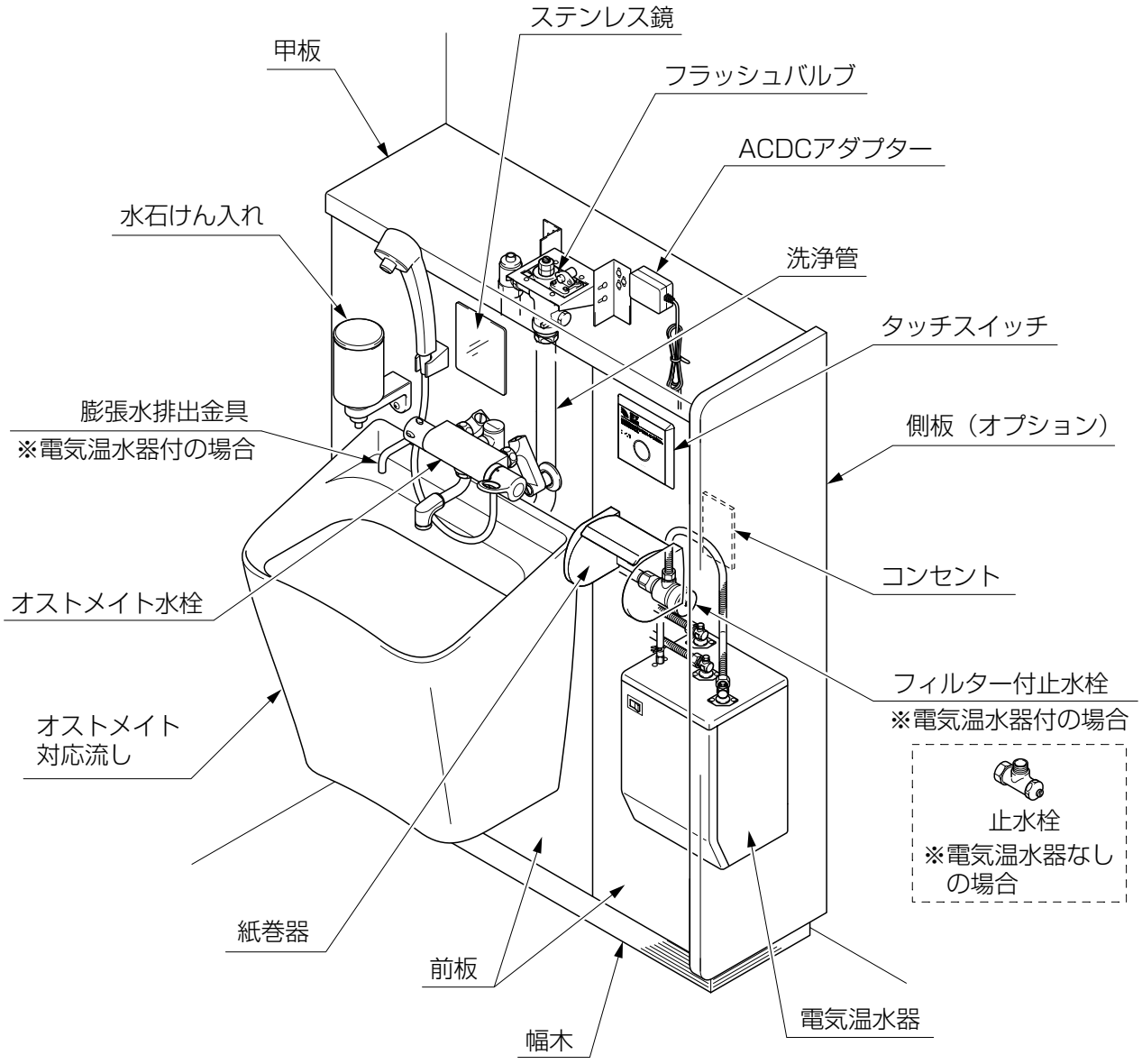
**この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。**

もくじ

各部の名称……2
安全上のご注意……3
ご使用方法……7
お手入れ方法……8
保守点検方法……10
修理を依頼される前に……22
アフターサービスについて……24
仕　様……26
保証書……27

プラ
袋：PE

●各部の名称



※図は電気温水器付仕様、Lタイプ

●膨張水吐出金具（電気温水器付の場合）

オストメイト水栓の給湯側下部の金具は電気温水器の膨張水吐出口です。電気温水器の内部のお湯が沸き上がるまでの間、ここから水がポタポタと吐出されます。これは水の温度の上昇による膨張水が排出されるためですが、出てくる水は 40℃以下ですので、危険はございません。

●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は､状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
……この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

分解禁止
……「分解してはいけません！」

接触禁止
……「指示した場所に触れてはいけません！」

指示実行
……この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。

甲板の上に火のついたタバコを置かないでください。
※火災の恐れがあります。

甲板は修理点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※火災・感電や漏水、また甲板が外れ落下してケガをする恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源線が破損し、火災・感電の原因になります。

●フラッシュバルブ・配線が故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちに電源を切り、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。
●フラッシュバルブ本体・給水部から漏水した場合、電源を切り、止水栓を閉めてください。
※感電・室内浸水の原因になります。

雷が発生しているときは、電源コードに触れないでください。
※感電の原因になります。

●温風器、ドライヤー等で熱を直接あてないでください。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形し、割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。また火災をおこす原因になります。

フラッシュバルブ等の修理・点検・掃除の際は、必ず電源を切ってください。
※感電の原因になります。

甲板や便器の上に乗ったり重い物をのせたりしないでください。
※変形や破損したり、落下・転倒してケガをする恐れがあります。

電源プラグやタッチスイッチ等を水につけたり、水をかけないでください。水がかかった場合は、必ず電源切って、差し込みプラグを抜いてから乾いた布等でふいてください。
※ショート・感電の恐れがあります。

浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

直接水をかけないでください。
※ショート・感電の原因になります。

コネクターの抜き差しは電源を切り、必ず乾いた手で行ってください。
※濡れた手で行うと、感電の原因になります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災の原因になります。

水道水（水道事業体が供給する上水）仕様の場合、水道水以外に接続しないでください。
また、中水仕様でも、オストメイト水栓や電気温水器には水道水をご使用ください。
※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

⚠ 注意

長時間使用しないときは電源を切ってください。

※漏水などの予想しない事故により、財産損害が発生する恐れがあります。

オストメイト対応流しにヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

前板、甲板には酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用しないでください。
また、直射日光に当たらないようにしてください。

※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

断水により、給水管内に空気が混入した恐れのある場合は、本説明書（P．21）の手順にしたがい、エア抜きを行ってください。

※エアが混入したまま使用すると、オストメイト対応流しなどが破損し、使用者がケガをする恐れがあります。

ご使用の前に、10秒程度お湯を流して水栓内部の水を新しくしてください。毎日、その日のご利用開始前に、1分程度オストメイト水栓からお湯を流して、電気温水器内の水を新しくしてください。

製品やオストメイト対応流し、甲板等に硬いものを落としたり衝撃を与えないでください。また、便器に熱湯をかけないでください。

※破損しケガをしたり、漏水し財産損害が発生する可能性があります。

オストメイト対応流しに油などを流さないでください。

※排水管が腐食し、漏水の恐れがあります。

オストメイト対応流し以外にはトイレ用洗剤は使用しないでください。

※他の部分に使用すると破損してケガをする恐れがあります。
※ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は表面が侵されますのでお使いにならないでください。

メンテナンスの際は手袋を着用してください。

※手を切ってケガをする恐れがあります。

電気温水器等の商品は、それぞれに添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。

※誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の恐れがあります。

電気温水器を取り外すときは、あらかじめオストメイト水栓から吐水し、電気温水器内の湯を出しきってください。

※水抜き時にヤケドをする恐れがあります。

鉛筆、ボールペンその他の異物を誤ってオストメイト対応流し内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。また、ストーマ装具等の異物、新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品、詰まりやすいものは流さないでください。

※オストメイト対応流し、排水管が詰まり汚水があふれる恐れがあります。

⚠ 注意

オストメイト対応流しにはトイレットペーパー以外は流さないでください。 **※排水管が詰まり、汚水があふれてトイレ内などを汚す原因となります。** 禁止	万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。 **※詰まったまま水を流すと、オストメイト対応流しから汚水があふれます。** 指示実行
フラッシュバルブのピストンの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。 **※水が噴き出し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。また、この作業の前に必ず電源が切ってあることを確認してください。** 指示実行	凍結の恐れがある場所では、使用しないでください。 **※凍結破損により漏水の原因になります。** 禁止
	定期的に配管のまわりを見て水漏れがないことを確認してください。 **※部品の劣化、磨耗などによる水漏れにより、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。** 禁止

■結露の注意

室温とオストメイト対応流しの表面温度差や湿度により､オストメイト対応流しの表面に水滴が生じることがあります。(結露) 結露を防ぐためには、部屋の換気を十分に行ってください。なお、結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。

※結露水は床のしみや破損の原因になります。

■KILAMIC 抗菌商品についての注意

本商品のオストメイト対応流しはKILAMIC 抗菌商品です。

1. KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
2. KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

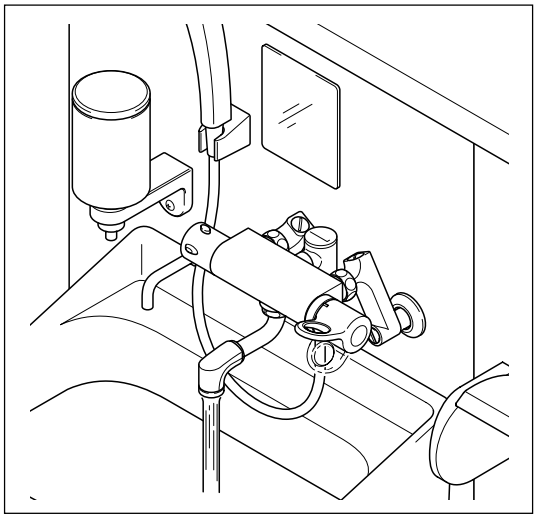
●ご使用方法

紙巻器、電気温水器のご使用方法は、各機器に同梱の取扱説明書をご参照ください。

■水栓の使い方

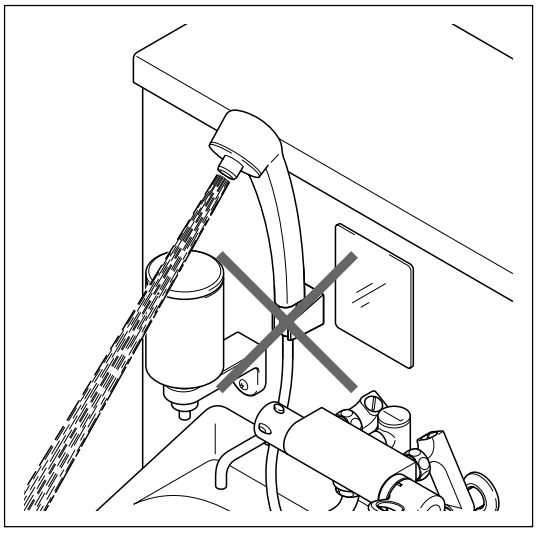
●ご使用の前に、オストメイト水栓から 10 秒程度お湯を流して水栓内部の水を新しくしてください。

●毎日、その日のご利用開始前に、1 分程度オストメイト水栓からお湯を流して、電気温水器内の水を新しくしてください。



●オストメイト水栓シャワーをご使用の際はフックに付けたまま水を出さないでくだください。

※水が陶器から飛び出し、使用者の衣服を濡らしたり、床を濡らす可能性があります。



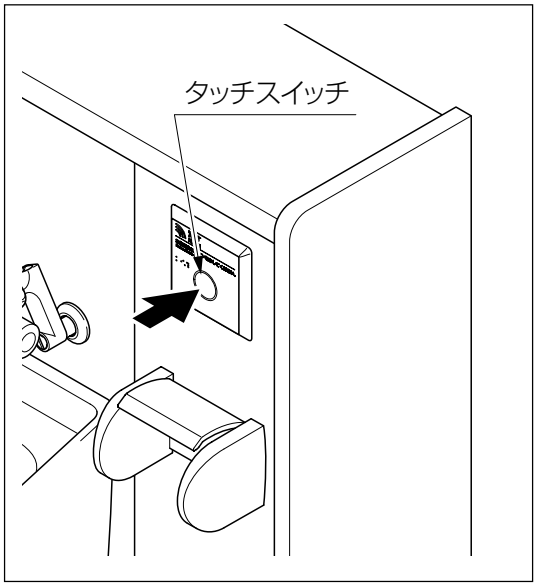
●ご使用後はタッチスイッチを押し、陶器内を洗浄してください。

●流し洗浄とシャワーの洗浄を同時にしないでください。

※シャワーの温度が不安定になる恐れがあります。

●電源投入直後と最後の洗浄から 24 時間経過したとき、設備保護のために一度洗浄を行います。（設定で止めることも可能です）

●一度洗浄を行うと 10 秒間経過しないと次の洗浄を行いません。



●お手入れ方法

紙巻き器や電気温水器のお手入れは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

■日常のお手入れについて

⚠警告

電源プラグやタッチスイッチ等を水につけたり、水をかけないでください。水がかかった場合は、必ず電源を「切」にして、差し込みプラグを抜いてから乾いた布等でふいてください。

※ショート・感電の恐れがあります。

本品に直接水をかけないでください。

※ショート・感電の恐れがあります。

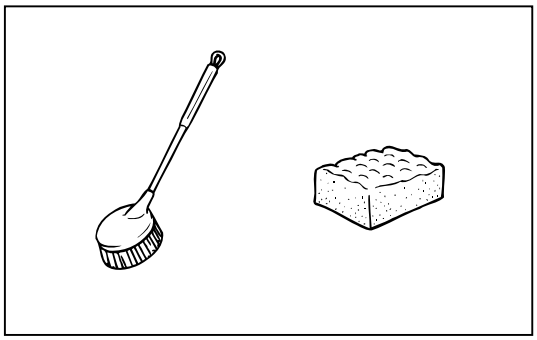
⚠注意

洗剤はそれぞれの使用説明書に従い、定められた方法で定められた用途にお使いください。

※樹脂が割れてケガをしたり、洗剤がまざって有毒ガスが発生する恐れがあります。

●オストメイト対応流しのお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて中性洗剤と水、またはぬるま湯で洗ってください。熱湯を汚物流しに注ぎますと割れることがありますのでおやめください。

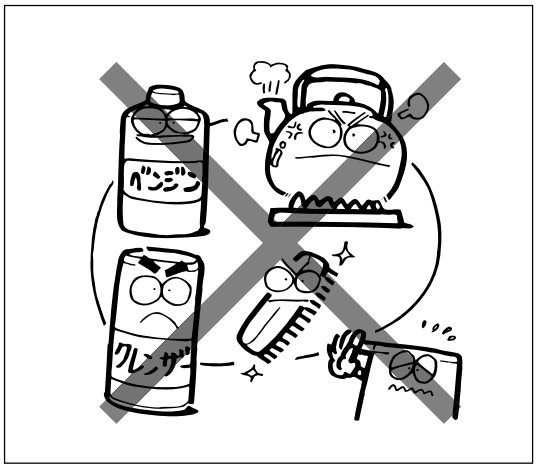
※ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は表面が侵されますのでお使いにならないでください。



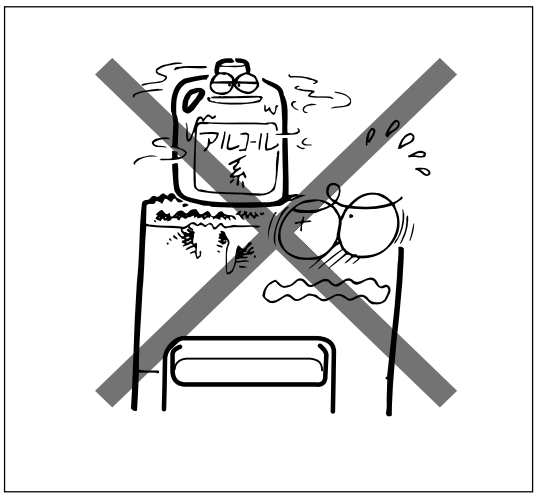
●前板、甲板を掃除の際は中性洗剤をうすめた液（100倍程度）を布につけ、固く絞ってふいてください。洗剤使用後は水道水に湿らせた布でふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。

●前板、甲板表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。

- 中性洗剤以外の洗剤
- 酸、アルカリ
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布



●甲板の上にアルコール系薬品や酸性系洗剤を置かないでください。
※変質の恐れがあります。



⚠注意

本体やオストメイト対応流し、甲板に硬いものを落としたり衝撃を与えないでください。また、オストメイト対応流しに熱湯をかけないでください。
※破損しケガをしたり、漏水し財産損害が発生する可能性があります。

●保守点検方法

■点検前に

⚠警告

電気製品の保守点検を行う場合は、必ず電源を切って作業してください。
※感電する恐れがあります。

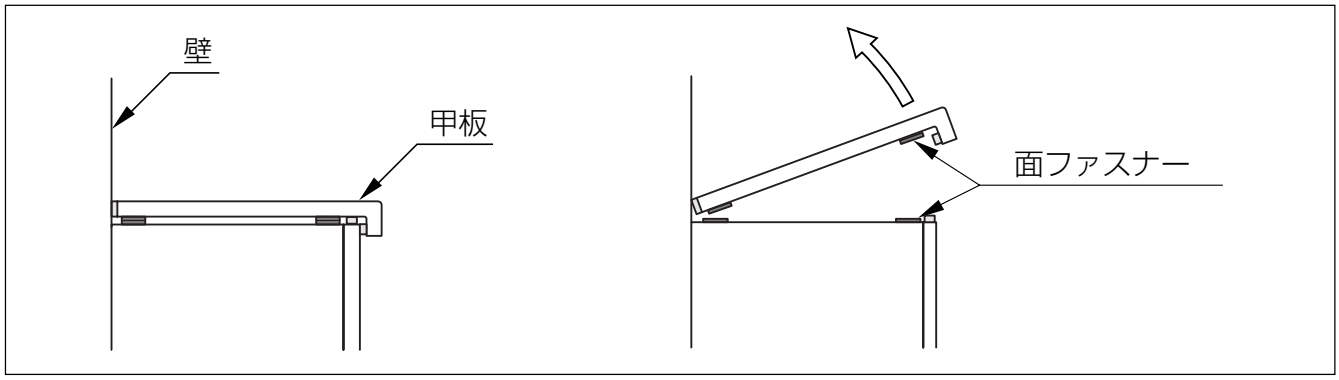
⚠注意

保守点検の際は手袋を着用してください。
※手を切ってケガをする恐れがあります。

■甲板の取付けおよび取外し

〈取外し方〉

①甲板は面ファスナーによって、フレームに固定されています。
②甲板の前垂れに手を掛け、引き上げるように取り外します。
※いたずらされないように、ある程度力を入れないと外れないようになっています。



〈取付け方〉

①甲板の前垂れから先にパネルに当てるように合わせ、所定の位置に戻します。
②甲板面ファスナー上面位置を強く押し付けて、面ファスナー全てを効かせます。

■膨張水排出について

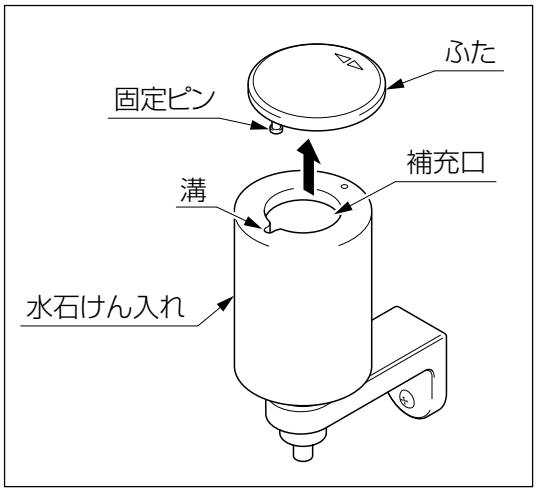
電気温水器のタンク内の水があたためられると体積が膨張し、膨張水排出金具から40℃以下の水として排出されます。この水には水質によりますが、微量の銅イオンが含まれます。排出された直後は無色ですが、そのまま放置すると青緑色のサビ（緑青）が発生する場合があります。これは特に使用開始直後に発生しやすいので、器具の使用頻度が低い場合でもこまめに鉢内の清掃をしていただきますようお願いします。
万一緑青が発生した場合はすぐにうすめた酸性洗剤を付けた布でふいて除去してください。時間がたつと除去が困難になります。

■水石けんの補充

水石けん入れのふたを左右にひねるようにして取り外し、水石けんを補充してください。

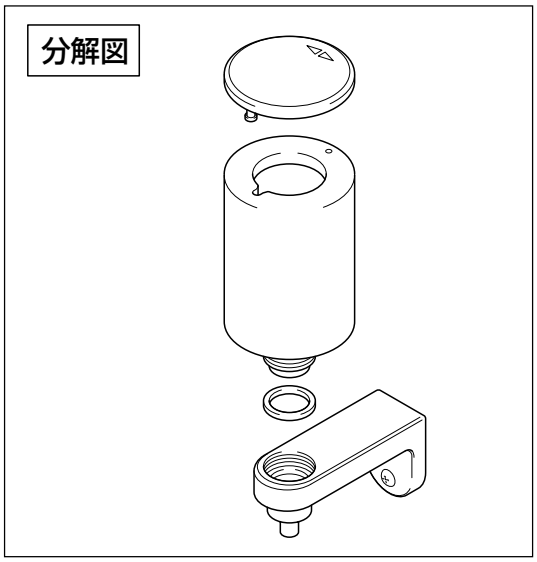
※水石けんは必ず水石けんメーカーの指定した濃度に希釈してご使用ください。
水石けんが固着し、吐出しなくなる場合があります。

※ふたの取付けは、固定ピンを補充口の溝にスライドさせるようにはめ込み、水石けん入れとズレがないように取り付けてください。(「カチッ」っと止まる位置に合わせてください。)



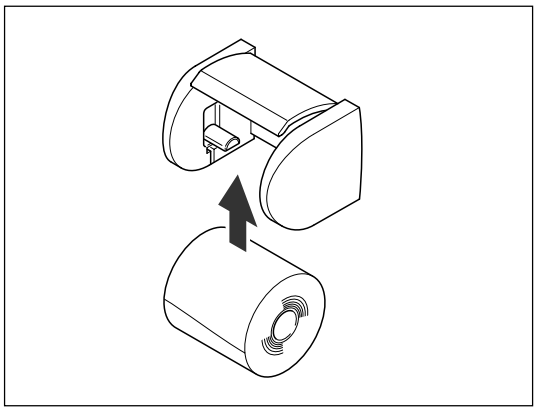
■水石けん入れの掃除

長期間使用しなかったり、水石けんの性質によって水石けんが固まり吐出しなくなる場合があります。その場合は内部を分解し、ぬるま湯で固まった石けん分をよく洗い流してください。



■トイレットペーパーの交換方法

トイレットペーパーを上へ持ち上げてセットします。



■定期的な点検について

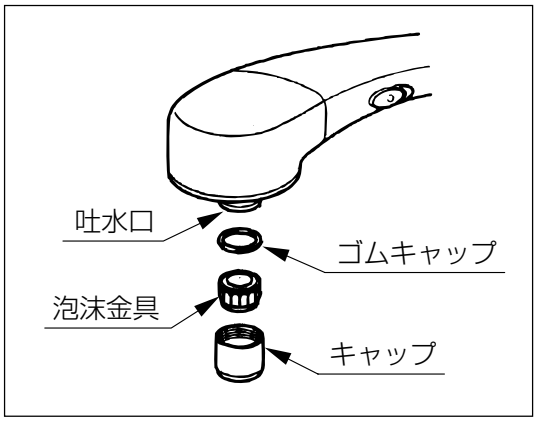
通常の点検は、甲板を持ち上げ、取り外しておこなってください。
※取外し方法はP10をご参照ください。

■水洗金具

メッキ部のハガレはそのまま放置しないでください。
※メッキ部のハガレやキズで手をケガをする恐れがあります。

■泡沫口の掃除

1．手でキャップを回して取り外します。
2．泡沫口金具についたゴミを水で洗い流します。
3．キャップに泡沫口金具、ゴムパッキンを入れて吐水口に取り付けます。

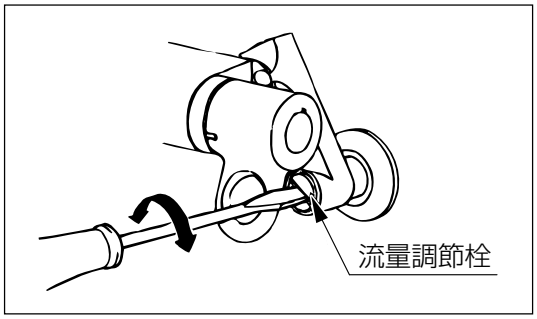


■オストメイト水栓ストレーナーの掃除

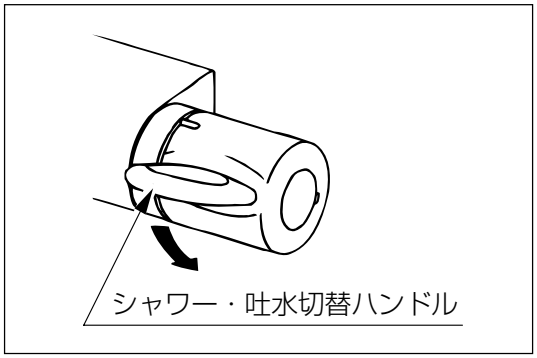
ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。
ときどき次の要領で掃除してください。

• ストレーナーの掃除

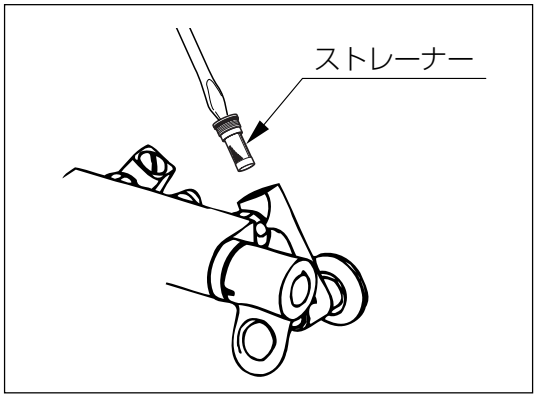
1．湯側（左）と水側（右）の流量調節栓を時計回りにいっぱいにねじ込みます。



2．シャワー・吐水切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。



3．大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。
ストレーナーは湯側と水側の両方に付いています。

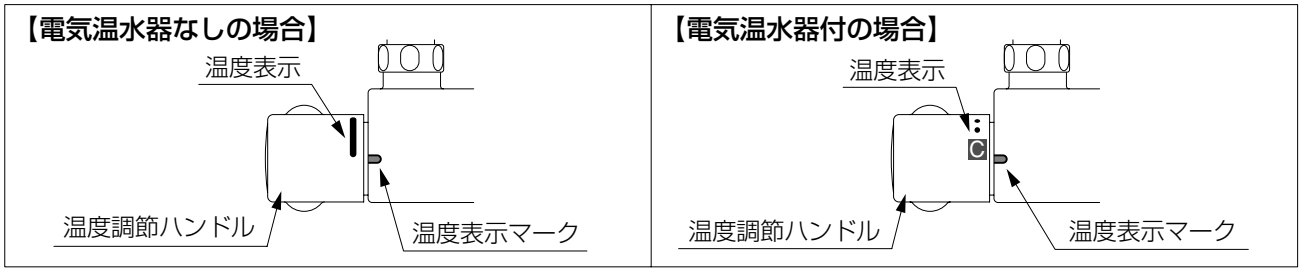


4．組み付けは逆の手順で行い、組付後、流量調節（13ページ）を行ってください。

■オストメイト水栓の水量の調節方法

オストメイト水栓の適正水量は4～7L/分です。下記を目安に水量調節を行ってください。

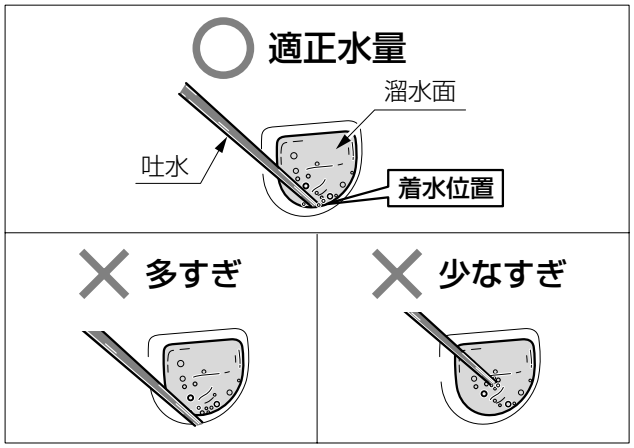
1．温度調節ハンドルを**最低温度**にします。

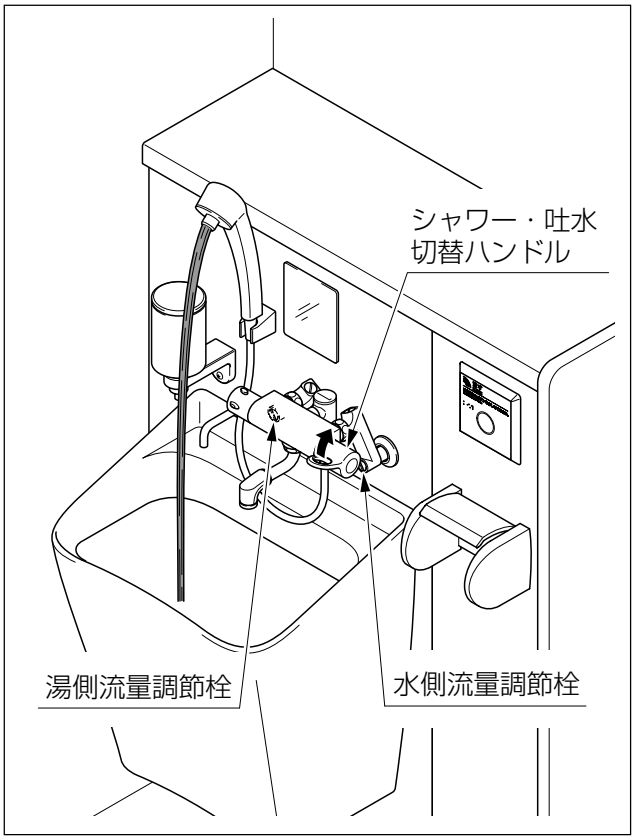


2．シャワーをフックにかけた状態でシャワー・吐水切替ハンドルを少しづつ上にあげ、シャワーから吐水させます。
※吐水が鉢から溢れないように注意してください。

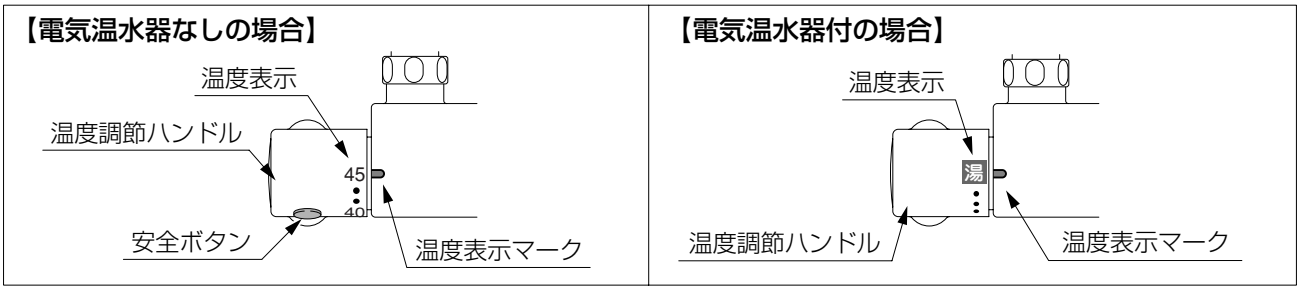
3．吐水方向を流し鉢内の溜水面の先端方向に向けます。

4．吐水の着水位置が、溜水面の先端になるように湯側流量調節栓を調節します。





5．シャワー・吐水切替ハンドルを元の位置に戻して止水し、温度調節ハンドルを**最高温度**にします。

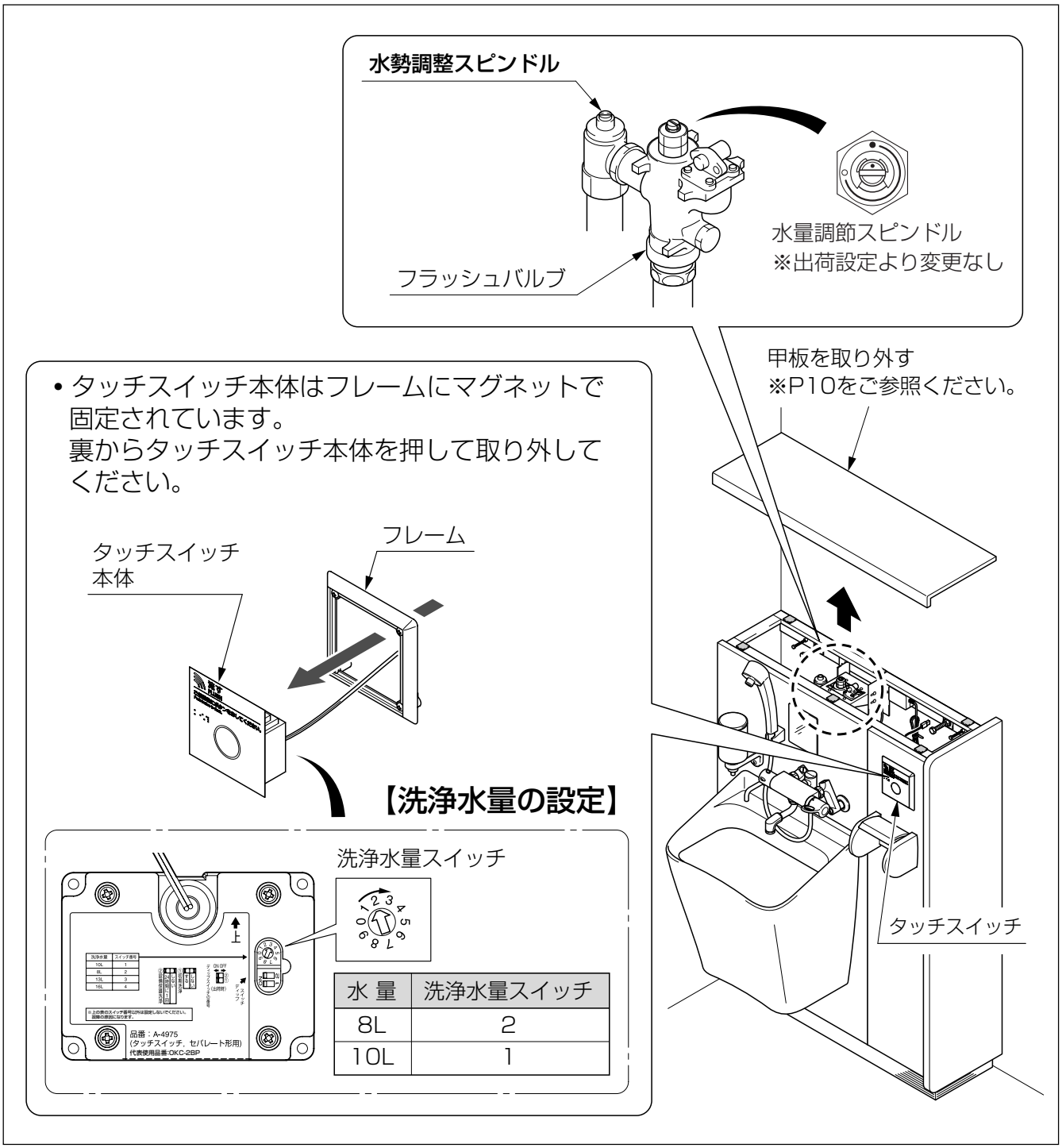


6．2～4と同様に（今回は**湯側流量調節栓**）水量を調節します。
※電気温水器なしの場合、流量調節後は快適にご使用いただくため、温度調節ハンドルを「40℃」の位置にもどしておいてください。

■オストメイト対応流しの洗浄水量

本品は水圧0.1MPa（流動時）以上の場合、水量8Lでのオストメイト対応流しの洗浄が可能です。
水圧0.07以上0.1MPa未満（流動時）の場合は水量を10Lにすることで洗浄可能です。

●洗浄水量スイッチを設定した後、鉢内全体が洗浄され、洗浄水の飛散がないように水勢調整スピンドルを調節してください。



水 量	洗浄水量スイッチ
8L	2
10L	1

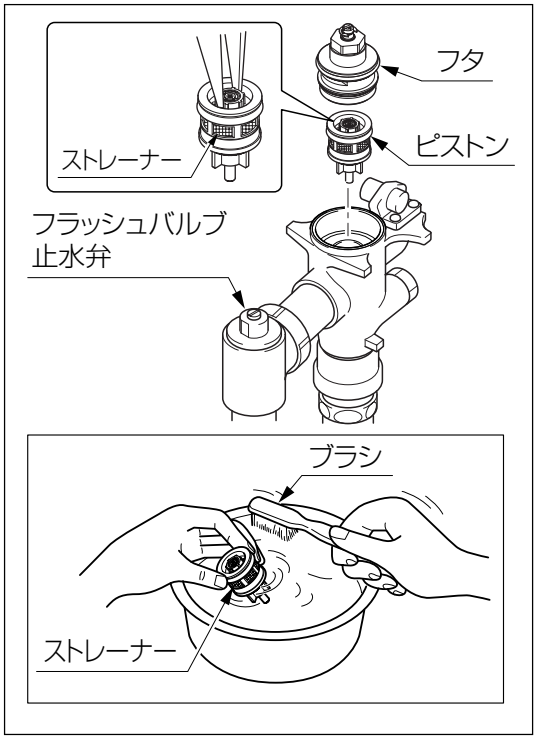
■フラッシュバルブのお手入れ

配管内に残留しているゴミ等により、止水不良が発生する場合があります。その場合は以下要領にしたがいピストンや電磁弁のダイヤフラムなどを掃除してください。

• フラッシュバルブストレーナー

甲板を外し、フラッシュバルブ止水弁を閉めて作業します。

※歯ブラシなど先の柔らかいブラシを使用してください。



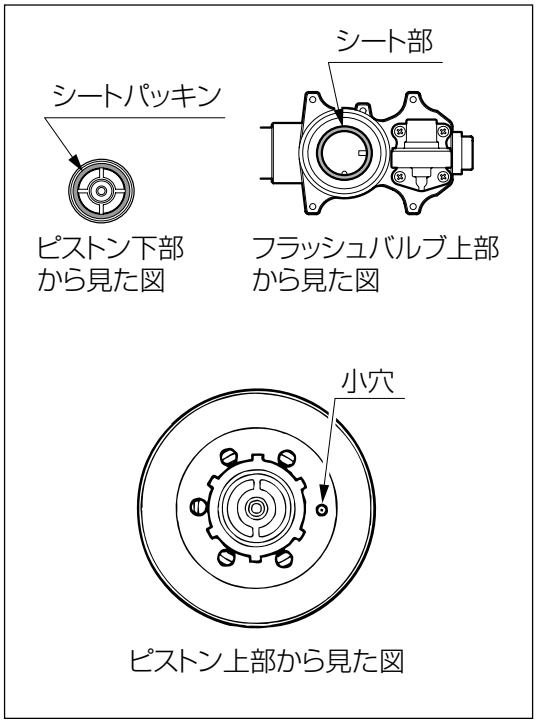
※シートパッキン･シート面もあわせて掃除してください。

ピストン小穴に詰まったゴミも取り除いてください。

ゴミによりシートパッキンが変形している場合はピストンを交換してください。

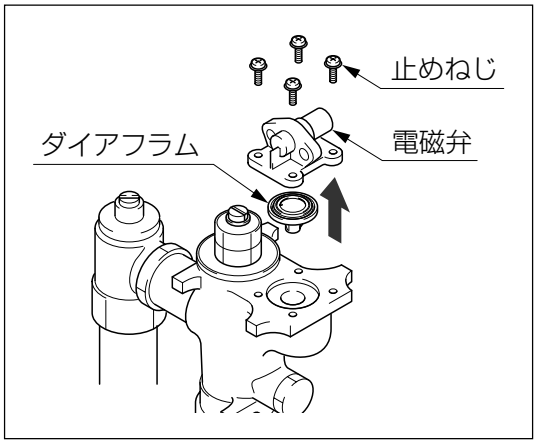
ピストン品番：水道水仕様　A-3189-1

：中水仕様　A-3189-1-6C

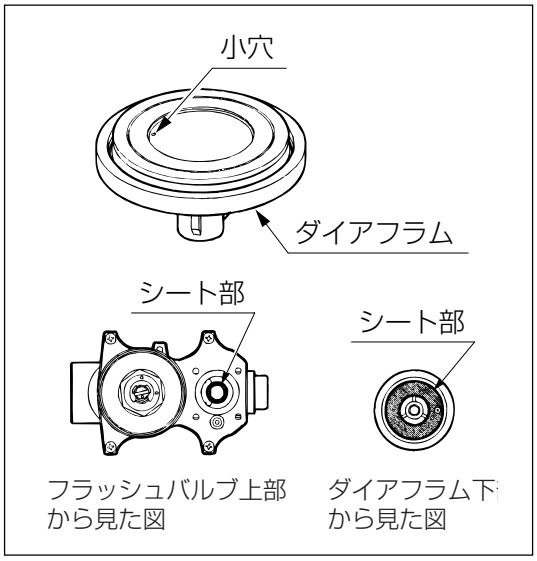


• ダイアフラムおよびシート部の掃除

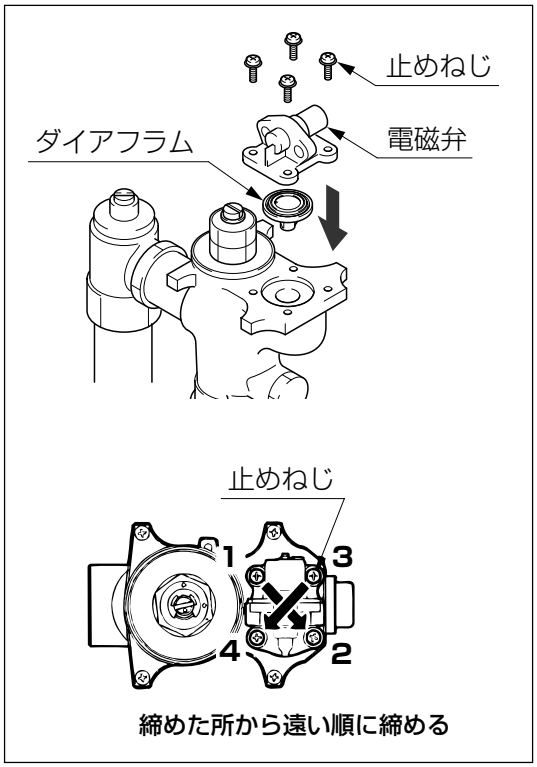
1．プラスドライバーで電磁弁の止めねじ４本を外して、電磁弁とダイヤフラムを取り外します。



2．ダイヤフラムの小穴に詰まったゴミを、息をふきかけるなどして取り除きます。
また、シート面およびシート部のゴミや汚れも取り除いてください。



3．ダイヤフラムと電磁弁をもとの位置にはめ、止めねじ４本で固定します。
※止めねじを締める際は均等に締まるよう、締めたところから遠い順に締めます。



■電気温水器のメンテナンス（電気温水器付の場合）

電気温水器のメンテナンスの詳細は、電気温水器に付属の取扱説明書をご覧ください。

●コンセントプラグについて

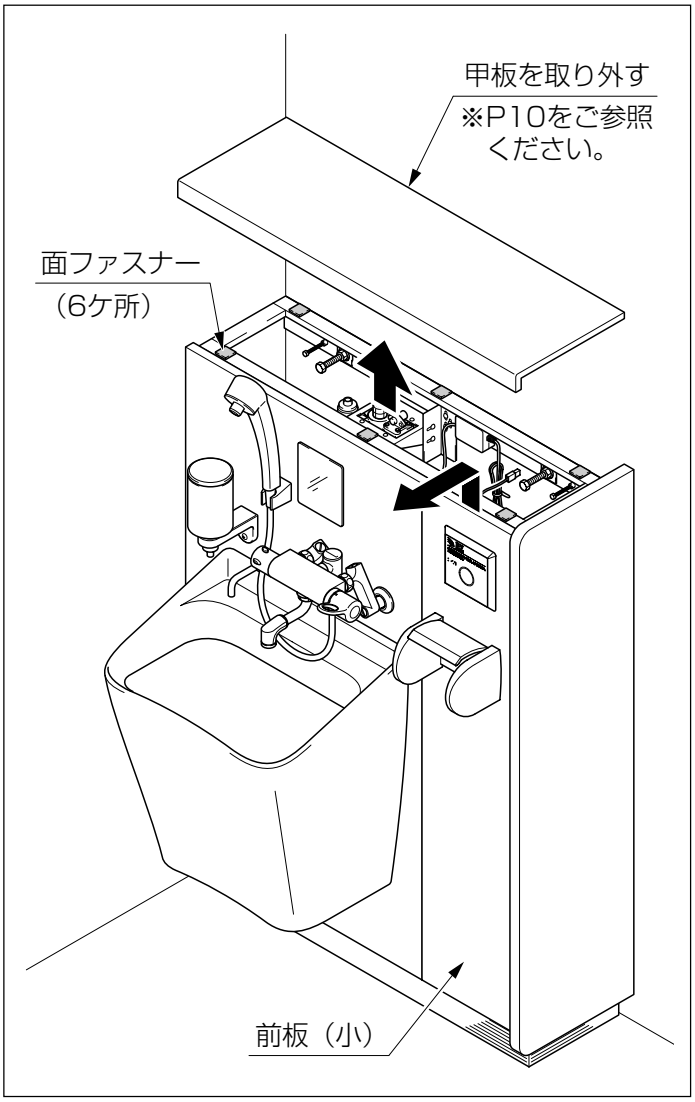
半年に 1 回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。

※火災の原因になります。

●電気温水器の取外し方

1．甲板を上に引き上げて取り外します。（甲板は面ファスナー（6 ケ所）で固定されています）

2．タッチスイッチのコネクターを外し、前板（小）を上に軽く引き上げて取り外します。

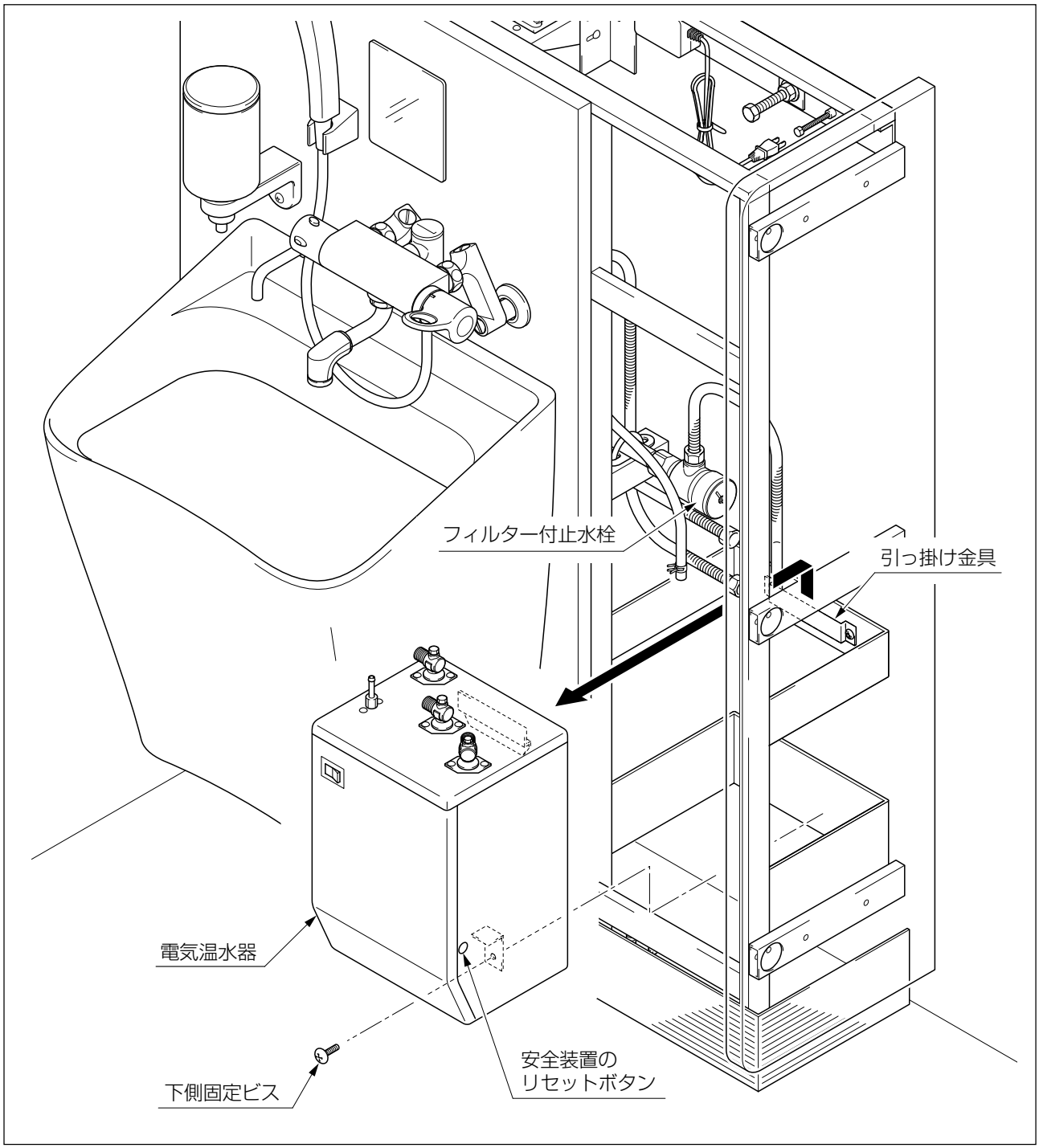


3．電気温水器のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから外します。

4．オストメイト水栓の温度調節ハンドルを最高温度にし、お湯が水にかわるまで、オストメイト水栓を吐出させます。

※必ず電気温水器の湯を出しきってください。電気温水器の水抜き時にヤケドをする恐れがあります。

5．フィルター付止水栓を閉めます。
6．電気温水器の取扱説明書にしたがって電気温水器内部の水を抜きます。
7．電気温水器に接続されている給水フレキ管、膨張水排出ゴムホースを取り外します。
8．電気温水器の下側をフレームに固定しているビスを取り外します。
9．電気温水器を上に引き上げ、引っ掛け金具より外し手前に取り外します。



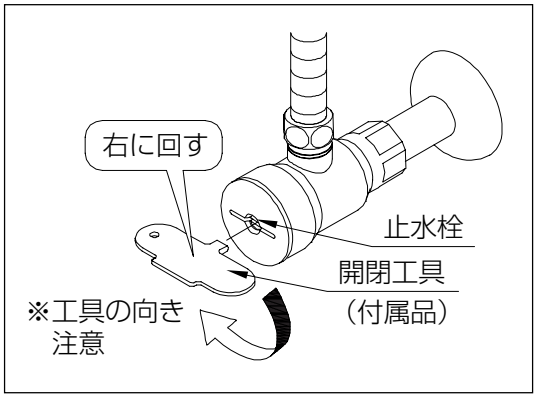
電気温水器の再取付は、上記の逆の手順としてください。再取付後、オストメイト水栓の温度調節ハンドルを最高温度にし、水栓から水が出るまで（電気温水器のタンクが満水になるまで）吐水させた後、電気温水器の電源を入れてください。

※空だき状態になり、電気温水器の安全装置が作動する恐れがあります。

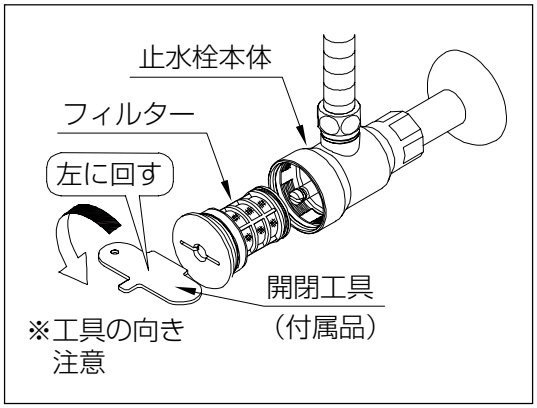
●フィルター付止水栓について

フィルターの掃除の詳細は電気温水器の取扱説明書をご参照ください。

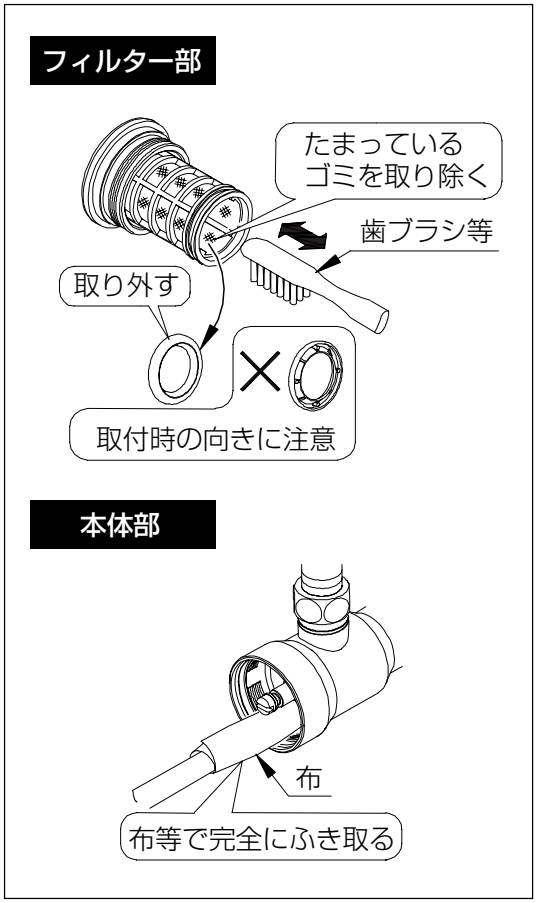
1．電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜きます。
2．開閉工具（止水栓付属品）を用いて止水栓を閉めます。



3．開閉工具（止水栓付属品）を用いてフィルターを取り外します。

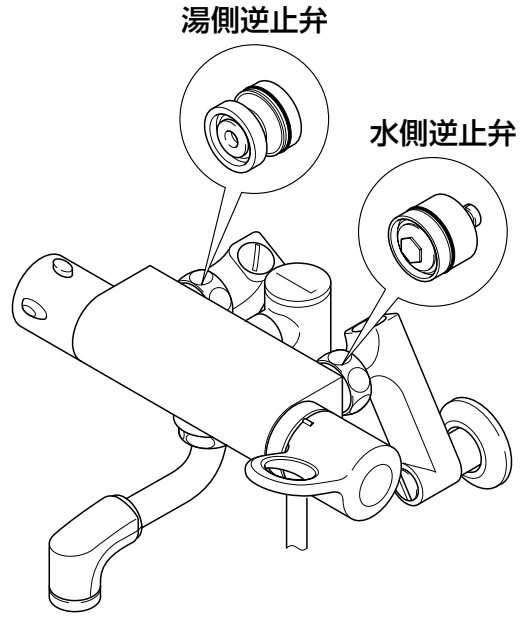


4．フィルターおよび止水栓本体内部のゴミをブラシ等で取り除きます。



5．取り外しと逆の手順でフィルターを取り付けます。

■定期的な部品交換のお願い



交換時期：3～5年

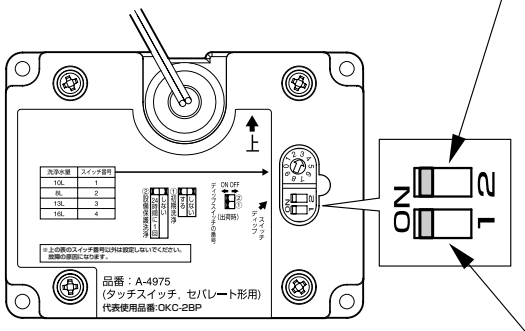
※逆止弁の交換は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

0120-179-411

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は”技術料“＋ ”出張料“＋”部品代“で構成されています。

■タッチスイッチのその他の機能設定

本品は電源投入後、自動的に一度水が流れます。（初期洗浄機能）
また、24時間以上洗浄が行われない場合、自動的に洗浄を行います。（設備保護洗浄機能）
これらの機能はタッチスイッチ裏面のディップスイッチにより入切可能です。
（タッチスイッチ本体の取外し方は 14 ページを参照ください）

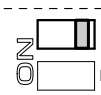


（タッチスイッチ裏面）

● 設備保護洗浄（ディップスイッチ2）の設定

設備保護洗浄は、出荷時「24時間に1回」（ON）に設定しています。ディップスイッチ2を切り替えることで「しない」に設定することができます。

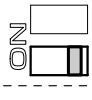
※「しない」に設定した場合、長時間使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。



※設備保護洗浄「しない」場合

● 初期洗浄（ディップスイッチ1）の設定

初期洗浄は、出荷時「する」（ON）に設定しています。ディップスイッチ1を切り替えることで「しない」に設定することができます。



※初期洗浄「しない」場合

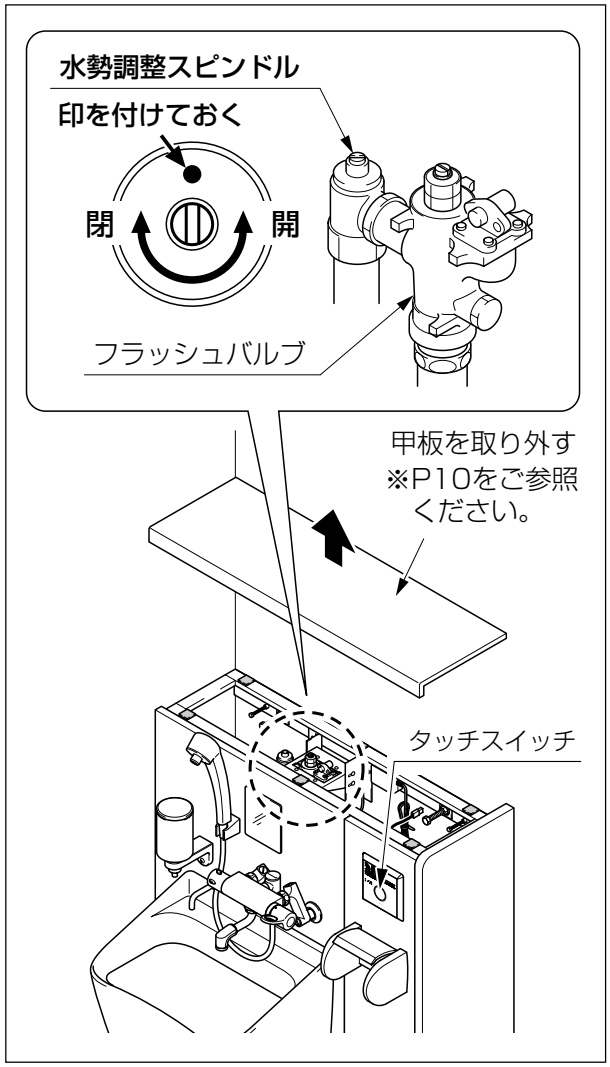
■断水後の復旧

ご注意

●断水により、給水管内に空気が混入した恐れのある場合は、以下の手順にしたがい、エア抜きを行ってください。

※エアが混入したまま使用すると、便器などが破損し、使用者がケガをする恐れがあります。

1．甲板を取り外します。
2．チャッキスピンドル（止水栓）の元の位置に印を付けておきます。
3．チャッキスピンドル（止水栓）を全閉にします。
※後で印の位置に戻す必要があるため、何回転回したか、メモしておくなど覚えておいてください。
4．タッチスイッチを押します。
5．チャッキスピンドル（止水栓）を少しずつ開き、エア抜きをします。
6．チャッキスピンドル（止水栓）を印の位置に戻し、甲板を元に戻します。



各作業方法については保守点検方法の項目およびそれぞれに付属の取扱説明書をごらんください。

●修理を依頼される前に

■故障かなと思ったら

次のような場合は、故障ではありません。簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。確認しても故障が直らない場合は止水栓を閉じ、漏電遮断機を切ってお求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、保守・点検の決められた項目以外は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※故障・感電の原因になります。

●タッチスイッチ・フラッシュバルブについて

現　象	確　認	処　置
水が出ない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	コネクタは確実に差し込まれていますか。	コネクタを差し込みます。
	停電中ではありませんか。	停電復帰を待ってください。
	止水栓（水勢調整スピンドル）は開いていますか。	止水栓を開けてください。
	断水中ではありませんか。	断水が終るまでお待ちください。
水が止まらない	ピストンとフラッシュバルブ本体のシート部にゴミがかんでいませんか。	シート部を掃除してください。（15ページ）
	ピストンの小穴にゴミが詰まっている。	ピストンの小穴のゴミを取り除く。（15ページ）
	ダイヤフラムの小穴にゴミが詰まっている。	ダイヤフラムの小穴のゴミを取り除く。（15ページ）
洗浄水量が少ない	水勢調整スピンドルは適量の水勢になるように開いていますか。	水勢調整スピンドルを開いて調節します。（14ページ）
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。（14ページ）
洗浄水量が多い	ピストンのストレーナーにゴミなどが詰まっていませんか。	ピストンのストレーナーを掃除してください。（15ページ）
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。（14ページ）
水が勝手に流れる	「設備保護洗浄」、「初期洗浄」ではないですか。	「保守点検方法」の内容を確認してください。（20ページ）

●オストメイト対応流しについて

現　象	確　認	処　置
鉢の内部に青緑色の汚れが付着している	膨張水排出金具から排出された膨張水中の銅イオンによる緑青ではないですか。	日常のお手入れについてをご確認ください。 （10ページ）

●オストメイト水栓・電気温水器について

現　象	確　認	処　置
吐水しない	断水中ではありませんか。	断水が終るまでお待ちください。 （断水後の復旧は21ページをご参照ください）
	電気温水器のフィルター付止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開けてください。
	オストメイト水栓の流量調節栓が閉まっていませんか。	流量調節を行ってください。（13ページ）
お湯が出ない	停電中ではありませんか。	停電復帰を待ってください。
	電温のスイッチは切れていませんか。	電源スイッチを入れてください。
	オストメイト水栓の流量調節栓が閉まっていませんか。	流量調節を行ってください。（13ページ）
	電気温水器の安全装置が作動していませんか。	電気温水器の取扱説明書にしたがい、安全装置のリセットボタンを押し、復旧させてください。 電気温水器の取外し方法はP17をご参照ください。
お湯が出ない、温度が低い	お湯切れになっていませんか。	電気温水器のタンクのお湯がなくなると、わかし上げに時間がかかります。
熱いお湯が出ない	手を洗うのに適正程度の温度ですか。	最高温度は約36℃です。
電温の通電表示灯が点灯していない。	温水は正常に出ますか。	電気温水器の通電表示灯はヒーターが通電している間だけ点灯し、沸きあがった状態では消灯します。詳しくは電気温水器の取扱説明書をご確認ください。

●水石けん入れについて

現　象	確　認	処　置
水石けんが出ない	水石けんが入っていますか。	水石けんを補充してください。
	水石けんが固まっていませんか。	水石けん入れ内部を洗ってください。 （11ページ）

●アフターサービスについて

■修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの販売店にご相談ください。

●“取扱説明書”どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

■定期点検のおすすめ

有料となりますが､次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより３年たったもの。

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、販売店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付日より２ケ年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるとき

お求めの販売店または、保証書に記載のLIXIL 修理受付センター（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低６年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

■アフターサービス等についておわかりにならないとき

販売店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

■仕様表

	品　名	品番／仕様
ライニング	甲板	メタクリル系人造大理石
	前板パネル	塩ビ鋼板パネル
	幅木	ステンレス　ヘアライン仕上
	フレーム	溶融亜鉛メッキ鋼板
器具	オストメイト対応流し	壁掛オストメイト対応流し，洗浄水量：8L
	洗浄方式	オートフラッシュC，専用埋込タイプ，タッチスイッチ洗浄 電源電圧：AC100V 50/60Hz 消費電力：2W以下（バルブ作動時：4W以下）
	水栓金具	ミキシング式オストメイト水栓（電気温水器付） サーモスタット付オストメイト水栓（電気温水器なし）
	水石けん入れ	横型水石けん入れ　350ml
	紙巻器	ワンタッチ式紙巻器　ワンハンドカット機能付
	電気温水器 （電気温水器付仕様）	タンク容量 3L（EHPN-CA3S1相当） 電源電圧：AC100V　50/60Hz 消費電力：700W 給湯温度：36℃
使用温度条件		0～40℃ (ただし凍結の恐れのある場所では使えません)

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：　オストメイトパック（コンパクトタイプ）　（品番：　　）			
保証期間　取付日より　2 ヶ年		取付日　　年　　月　　日	
お客さま	おなまえ	店名	
	おところ		
	おでんわ　（　　）　　ー	TEL　（　　）　　ー	

無効

お客さまへ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＬＩＸＩＬ修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
(8)小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障および損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18)本書にお取付日・お客さまのお名前・販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

TEL ０１２０ー１７９ー４００
FAX ０１２０ー１７９ー４３０

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053
受付時間：平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまで

TEL ０１２０ー１７９ー４１１
FAX ０１２０ー１７９ー４５６
受付時間：9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

GTU-1008J（13060）